

長野市総合計画審議会作業部会 会議概要（報告）

| | |
|-----|--------------------------|
| 会議名 | 市民フォーラム21 第5回 保健・福祉部会 |
| 日時 | 平成22年12月27日（月）午後1時から午後3時 |
| 会場 | 長野市役所第二庁舎 10階 会議室18 |
| 出席者 | 作業部会員 （敬称略） |
| | 関係課員 |

I 会議次第

- 1 開会
- 2 部長あいさつ
- 3 市民フォーラム21 第4回 保健・福祉部会 会議概要について 別添資料
- 4 ワークショップのまとめ（案）について
 - 政策1-1 安心して子育てができる環境の整備 資料1
 - 政策1-4 安心して暮らせる生涯健康づくりの推進 資料2
- 5 第四次長野市総合計画 後期基本計画大綱（案）の項目について 資料3
- 6 第四次長野市総合計画 後期基本計画大綱まとめ（案）について
 - (1) 第四次長野市総合計画 後期基本計画の体系（たたき台）【保健・福祉分野】 資料4
 - (2) 政策1-1 安心して子育てができる環境の整備 資料5
 - (3) 政策1-2 生きがいのある豊かな高齢社会の形成 資料6
 - (4) 政策1-3 自分らしく生きられる社会の形成 資料7
 - (5) 政策1-4 安心して暮らせる生涯健康づくりの推進 資料8
 - (6) 政策1-5 人権を尊ぶ明るい社会の形成 資料9
- 7 今後の予定について
- 8 閉会

II 会議の概要（主な決定事項、質疑等）

- 4 ワークショップのまとめについて

「安心して子育てができる環境の整備」「安心して暮らせる生涯健康づくりの推進」をテーマにワークショップで検討した意見を資料1～2のとおりまとめることで確認した。
（第4回 保健・福祉部会 11月26日開催）
- 5 第四次長野市総合計画 後期基本計画大綱（案）の項目について

資料のとおりとすることで確認した。

6 第四次長野市総合計画 後期基本計画大綱まとめ（案）について

(1) 第四次長野市総合計画 後期基本計画の体系（たたき台）【保健・福祉分野】資料4

後期基本計画の体系（たたき台）【保健・福祉分野】については、(2) から (6) まで、協議した上で、事務局からの提案のとおりまとめることとした。

(2) 政策1-1 安心して子育て・子育てができる環境の整備 資料5

① 保育の充実において、後期基本計画の構成要素には「市立保育所の民営化推進」の記載が無いが、今後も進めていくのであれば必要ではないか。

⇒ 「市立保育所の民営化推進」の文言を入れ込むこととする。

② 「母子家庭等」と記載されているが、「母子、父子家庭」とした方が良いのではないか。

⇒ 「父子」の文言を追加することとし、また様々な家庭環境があることから「母子、父子家庭等」と修正する。

(3) 政策1-2 生きがいのある豊かな高齢社会の形成 資料6

① ワークショップの意見で「人材育成等介護体制の整備」とあるが、後期基本計画の構成要素では介護支援専門員に特化した記述に留まっている。介護職の人材育成全体についての視点が必要ではないか。

⇒ 福祉事業に従事する職員の育成については、社会福祉法において、都道府県の役割と定められており、福祉人材センターが県に設置され事業を行っている。

⇒ 福祉人材センターだけでなく、次世代への啓発等教育や雇用ということも含めての意見である。

⇒ ワークショップで出された意見であり、市の考え方について、分類する施策も含めて再度検討し、次回まで分かりやすく提案いただきたい。

② 「生きがいづくりの推進」で、「高齢者が学べる場の充実」とあるが、実際の老人福祉センターの講座で新規受講が出来ないことがある。実態を踏まえた取組をお願いしたい。

⇒ 実際の運営は指定管理者が行い、公平性の確保の観点から広く受講できるよう考慮しているが、再確認したい。記述は「高齢者が学べる場や機会の充実」と修正することとする。

③ 「社会参加活動の支援」で、「高齢者の移動手段の確保」とあるが、何を要約したものか分かりにくい。表現の再検討をお願いしたい。

⇒ 公共交通機関だけでなく交通に関する意見があることから、記述している。次回までに分かりやすい表現とし再提案することとする。

④ 「社会参加活動の支援」で、「高齢者が参加する社会活動の充実」としているが、実際に活動している実績があることから、老人クラブの文言を入れてもらいたい。

⇒ 「老人クラブ等高齢者が参加する社会活動の充実」と修正することとする。

(4) 政策1-3 自分らしく生きられる社会の形成 資料7

① 「地域生活支援の充実」で、地域でのグループホームやケアホーム等の施設があるが、「障害者施設の整備など地域で暮らせる生活環境づくり」というワークショップの意見もあり、後期基本計画の構成要素に入れてもらいたい。

⇒ 構成要素に「障害者施設の整備など地域で暮らせる生活環境づくり」を追加することとする。

② 「早期療育体制・教育の充実」で、「医師、発達相談員、保健師等による診断や保健相談等の充実」とあるが、保育園・幼稚園や新たな発達総合支援センターといった施設での相談もあることから修正等してもらいたい。

⇒ 関連施設での発達相談に関する項目を追加することとする。

③ 「早期療育体制・教育の充実」で、幼児期から中学までのそれぞれに関する記述はあるが、高校まで連携した支援体制について追加する必要があるのではないかと。

⇒ 表現については検討し、連携した支援体制について次回までに再提案することとする。

(5) 政策1-4 安心して暮らせる生涯健康づくりの推進

資料8

① 「健康づくり活動の支援」で、「自分の健康は自分で守る体制づくり」とあるが、ワークショップの意見としては違和感が無かったが、体制づくりではなく意識向上とか具体的取り組みを記載するなど分かりやすい表現に再検討してもらいたい。

⇒ 表現について検討し、次回までに再提案することとする。

② HIV・エイズの両方の記載があるが、同じ意味ではないのか。

⇒ HIVは、ヒト免疫不全ウイルスのことで、俗に、症状はないがウイルスに感染している状態をいい、エイズは、HIVに感染し、さまざまな感染症などの症状が出ていることをいうものであり、区別をしている。

⇒ そのように区別しているのであれば問題ないのではないかと。

⇒ 専門家は理解していても市民には分かりづらいのではないかと。

⇒ 前期計画の88ページをご覧ください。欄外に「HIV・エイズ」についての説明をしている。後期計画ではどのような体裁にするか未定であるが、分かりやすい表現等について大綱決定後に検討していきたい。

③ 「生活習慣病の解消」とあるが、普通は解消ではなく予防とか改善と表現するので、訂正してほしい。

⇒ 意見のとおり、訂正する。

④ 「医療提供体制の整備」で「立入検査」について、立入検査をしたことによって安心して受診できるということなのか、表現として市民がどう思うか違和感がある。指導とか別の表現にできないか。

⇒ 「立入検査」は、安心して受診できるようにするためのものである。実際、「立入検査」を行っており、前期計画に掲載されている表現であるので、左側の項目は修正しないが、後期計画の構成要素については検討し、次回までに再提案することとする。

⑤ 「長野市民病院が地域の中核病院として担う～」について、中核病院とする病院は長野市内に多数あるのではないかと。総合計画の記載としては、他の中核的病院に対する政策についても記載する必要があるのではないかと。

⇒ 市民病院の方向性に関する事項を記載している部分であるので、市民病院について特化しており、このままの記載としたい。他の病院については、別の部分に記載したい。

- ⑥ 「医療提供体制の整備」で、「地域の医療環境に応じた救急医療体制」とあるが、「地域の医療環境に応じた」という表現は分かりにくいので再検討してほしい。
- ⇒ 表現について、前出の市内の中核的病院に係る記述も併せて検討し、次回までに再提案することとする。

(6) 政策 1-5 人権を尊ぶ明るい社会の形成

資料9

- ① 施策「男女共同参画意識の確立」と「男女共同参画社会形成の推進」を後期計画の体系で統合した理由は何か。
- ⇒ 男女共同参画社会を実現するために、意識の啓発と社会形成のための具体的事業は関連しながら実施していくものであり、一施策で事業展開し分かりやすくするため統合したもの。